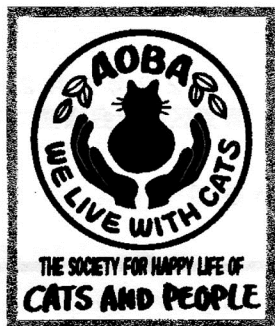


会報 青葉区ねことの暮らしを考える協議会

第17号

会長 馬場和清

協議会事務局 045-978-4976・080-3497-2049 (PHS)



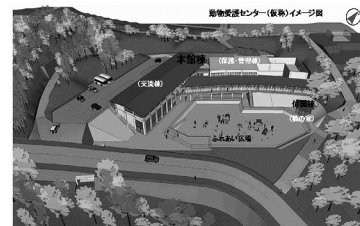
来春、横浜市動物愛護センターが開所します！

1：施設の目的

動物愛護センターは、動物愛護思想や適正飼育の普及啓発を行い「人と動物が共に快適に暮らせる環境づくり」を推進する拠点です。

そして、動物関係団体や市民ボランティア等との協働により運営を推進し、収容動物が可能な限り譲渡されることを目指すとともに、犬や猫とのふれあいをきっかけとした市民の自主的活動を支援する交流の場としています。

人と動物のよりよい関係をめざして
動物愛護センター(仮称)イメージ図



2：施設の概要

建物は、適正飼育等の啓発や地域活動を行うための「交流棟」と、犬や猫の保護・収容及び傷病動物の治療・飼育を行う「動物ふれあい棟」があります。また、猫を展示し生態を観察する「猫の家」、犬とのふれあい教室や譲渡会に利用する「ふれあい広場」があります。

3：主な事業

動物愛護センターでは、動物に関わるすべての人々の立場や役割等を踏まえ「人と動物の調和のとれた共生」の実現に向けて、国や他の自治体および18区役所と連携しながら、市全体の施策や地域の実情に即した取組を本市動物行政の拠点として展開していきます。

<市民協働事業>

→動物愛護思想の普及啓発、適正飼育の普及啓発、譲渡事業の充実、市民ボランティア等との協働、飼い主不明の犬や猫の対策、交流の場、市民意見等の反映、動物愛護を目的とした寄附の受け入れ

<動物保護管理事業>

→傷病動物への緊急措置、収容動物の保護管理業務

「区民まつり・健康フェスティバル」レポート

11月3日、さわやかな晴天の空の下、多くの来場者に恵まれ賑わいを見せ、大盛況でした。今年の区民まつりの参加テーマが「国際交流」という事で、世界各国のネコのお面をつけてグッズ販売に参加しました。駄菓子を入れたネコバッグや手作りのデコパージュの石鹸が好評でした。

健康フェスティバルでは、子猫の成長の違いを確認してもらおうと、4か月及び6か月の猫を連れて行きました。

「可愛い」「飼いたい」と寄って来る方はたくさんいましたが、真剣に里親になってくれる人は…？

ともあれ、ねこ協ブースに立ち寄って下さった皆様に、お礼申し上げます！

11月3日の総売上金額

70,409円

ありがとうございました！



売上金はすべて、不幸な猫を増やさないための活動資金(不妊・去勢手術など)に使われます。

猫の食餌について

お店などで売られているキャットフードには、どこかに「総合栄養食」とか、「一般食」、「一般食（おかずタイプ）」、「一般食（総合栄養食と一緒に与えてください）」などの表示が書かれています。

これは、「総合栄養食」は猫が必要としている栄養素をすべて含んだフードで、新鮮な水と一緒に与えるだけで健康を維持することができるように作られているものです。

猫缶などには「一般食」などの表示のものが多く見受けられますが、これらは人の食事で言うと「おかず」のようなものです。

どなたも思うように「おかず」だけの食事では、栄養のバランスが取れません。

缶詰が主食でいけないのではなく、缶詰でも「総合栄養食」となっているものもあります。一度キャットフード包装の裏に書いてある、成分表示のところを確認してみてください。

その他にも、嗜好増進などの目的で与える「副食 おかずタイプ」、特定の栄養成分の調整やカロリーへの補給などを目的として与える「栄養補完食」、特定の疾病に対して食事療法として与える「療法食」などの表示もあります。

(一部ペットフードガイドラインより抜粋)

馬場動物病院 院長 馬場和清



缶詰↑にも
←カリカリにも、
必ず表示されています

これだけで
健康生活
なんだニャ♪

総合栄養食



↑水



マイクロチップで見付かりました！

平成20年秋に譲渡した、当時半年の子猫。約束を守ってもらえず、自由に外出させていたようで、行方不明に。

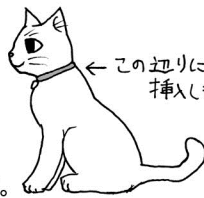
今年9月、登録センターからの連絡で、拾って下さった方(!)から連絡があったとの事。散々探し回り半ばあきらめかけていただけに、心がおどりました!!

拾って下さった方のお宅を訪ね、お話をうかがったところ…

痩せてさまよっていたその子を自宅につれ帰りなでていると、「首すじに何かがある!?!」と思い、猫好きな友人に相談したところ、「マイクロチップでは?」と言われ、今回の発見に結びついたとの事。

本当に、拾って頂いた幸運に感謝ですが、もう一つこの子がラッキーだったのは、拾って下さった方が「このままうちの子にするわ」と言って新たな譲渡の手続きにも快く応じて下さった事でした。

チップを入れるのは、一瞬で終わったから平気だよ



←この辺りに挿入します



ニュータウン動物愛護会 日向千絵

*マイクロチップとは、固有のIDナンバーを持つ、皮下埋め込み式の個体識別電子IDチップのことです。

←直径2mm、全長約12mmの円筒形で、とても小さく、安全性にも優れています。

毎月第2水曜日は楽しい

キャットメイト交流会

- ・猫に関する日頃の悩みなど、ざっくばらんにおしゃべりしながら楽しい時間を過ごしましょう。
- ・キャットメイト以外の方もご参加いただけます。皆様お誘い合わせのうえお気軽にご参加下さい。
- ・ご都合のつく短時間の参加でもOKです。
- ・当協議会オリジナルグッズや、手作りトールペイント小物などの販売をしています。

時間：午前11:00～午後4:30

場所：青葉区役所ロビー売店横(102会議室)

当協議会は

横浜市より、「青葉区役所と協働事業等をつながりのある団体である」と指定され、売上金のすべてを不幸な猫を増やさないため活動資金(不妊・去勢手術など)にあてることを条件として、区役所102会議室にて商品の販売を行っています。

お問い合わせ：協議会事務局 045-978-4976/080-3497-2049
青葉福祉保健センター生活衛生課 045-978-2465

第9回ねこの暮らしを考える講演会が、予約制に変更されました

会報16号にてお知らせ致しました上講演会(講師：藤田紘一郎先生)は、定員120名の完全予約制となりました。12月13日(月)より、先着順にて予約を受け付けます。

申し込み→TEL：045-978-2465/FAX：045-978-2423

講演会は当初の予定通り、平成23年1月11日(火)午後2時から行います。その他詳細は、別紙をご覧ください。